

ブリヂストン

「雨に強く、長持ちする」車種別専用低燃費タイヤを発表



セダン専用設計
ECOPIA EX20

軽・コンパクトカー専用設計
ECOPIA EX20C

ミニバン専用設計
ECOPIA EX20RV

ブリヂストンは、低燃費タイヤ「ECOPIA」ブランドの新商品として、お客様に優れたウェット性能と、ロングライフ性能を提供する車種別専用低燃費タイヤ「ECOPIA EX20シリーズ」を、2014年3月1日から順次発売すると発表した。発売サイズは、セダン・クーペ専用の「ECOPIA EX20」が19サイズ、軽・コンパクトカー専用の「ECOPIA EX20C」が17サイズ、ミニバン専用の「ECOPIA EX20RV」が10サイズで、価格はすべてオープン価格となる。

今回発売する「ECOPIA EX20シリーズ」は、同社独自の材料技術「NanoPro-Tech(ナノプロ・テック)」により、相反する性能である低燃費性能と、ウェット性能、耐摩耗性を高次元で達成する新コンパウンドを搭載している。さらに、新タイヤ開発技術「ULTIMAT(アルティメット)EYE(アイ)」を用いて設計した、踏面部のブロック剛性と、排水性を最適化した新パターンと組み合わせることで、新コンパウンドのグリップ力を最大限に引き出すことを可能とした。これにより3商品は、従来品と比べ、10%以上のウェット性能向上を実現、特に「ECOPIA EX20」は、ラベリング制度におけるウェットグリップ性能の最高グレード「a」を19サイズ中18サイズで達成している。

また「ECOPIA EX20シリーズ」はクルマの特徴や、使われ方を考慮し、セダン・クーペ、軽・コンパクトカー、ミニバン毎に専用設計を実施することで、それぞれの車種で発生しやすい偏摩耗を抑制、タイヤを長くご使用できることを追求している。

発売に先立ち、1月9日、東京都中央区の、同社本社で新商品発表と技術説明が行われた。

同会には、ブリヂストンから、清水実常務執行役員/ブリヂストンタイヤジャパン代表取締役社長と、市川良彦執行役員タイヤ技術開発/モータースポーツ技術担当、平郡久司タイヤ技術部長が出席し、ブリヂストンタイヤジャパンからは、長島淳二消費財マーケティング本部長が出席した。

この発表会では、新商品の開発背景、搭載技術、同社が開発した新技術等の説明があった。

※詳細は2月号掲載予定



会見後のフォトセッション＝清水常務（写真右）、市川執行役員（写真左）